

第7回津別町議会臨時会『行政報告』

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る10月5日、勲五等瑞宝章、津別町自治功労者並びに善行表彰者 ^{か が や へいさぶろう} 加賀谷平三郎 様がお逝去されました。故人は、昭和40年に津別町議会議員に初当選し、以来4期16年にわたり議員としてご尽力されました。平成14年には多額の浄財を寄附され、町政の発展に多大なご貢献をいただいたところであります。また、永年にわたり地域林産業の中心的立場でもご活躍され、平成13年秋の叙勲において、木材流通業振興功労として勲五等瑞宝章を受章されるなど、地域振興にも大きく寄与されました。

生前中の数々のご功績に衷心より敬意と感謝を申し上げますとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

次に、21世紀の森キャンプ場寝台車整備についてではありますが、鉄道愛好家で組織する鉄道友の会に所属する福岡県在住の ^{なかむら こうじ} 中村光司 氏が、令和4年度に来町され、令和5年度から毎年、年2回会員数名とともに21世紀の森キャンプ場寝台車の整備及び清掃をボランティアで行っていただいているところです。

今年度も5月及び10月に会員2名と来町され、計15日間滞在

し、寝台車の整備と清掃を実施していただきました。

中村氏からは今後も実施したいとのご意向を伺っていることから、来年度以降も整備等についてお願いするとともに、中村氏をはじめ来町される鉄道友の会の皆様と意見交換を行いながら、この取組に対し町として支援できることや、寝台車をはじめとする本町における廃線跡や鉄道車両の今後の活用について検討を進めて参ります。

次に、まちづくり懇談会についてであります。今年度は10月9日から11月25日までの間に16回開催したところ、75名の参加がありました。開催内容につきましては、自治会単位で13回、子育て世帯、障がい者及び青年層の各団体向けに3回開催し、主に「まちなか再生基本計画について」と「まちづくり基本条例について」の2つのテーマについて意見交換を行ったところです。

昨年度は中止としていたため2年ぶりの開催となり、例年と比較すると少ない参加人数となりましたが、参加者からまちづくりへの提案書をいただくなど、多くの貴重なご意見をいただきました。開催にご協力をいただきました自治会、各団体等関係者の皆様にあらためてお礼を申し上げますとともに、いただいたご意見についてはしっかりと受け止めて参ります。

次に、東京都清瀬市との交流についてであります。昨年5月8日に^{しぶやけいじ}澁谷桂司清瀬市長が来町し、清瀬市内の公園への鉄道車両展示を進めるにあたり、本町の21世紀の森キャンプ場及び相生鉄道公園を視察されたことがきっかけで始まり、今年度は清瀬市が市政55周年を迎える記念の年であったことから、「きよせ市民まつり2025」への出席とクマヤキの販売の依頼を受け、10月19日、清瀬市を訪問いたしました。

「きよせ市民まつり2025」は、ゆうに300mを超える屋台店に約4万人が参加する大変大きなイベントであり、株式会社相生振興公社の協力のもと、用意したクマヤキ700個は、イベントの終了時刻を待たずに完売する盛況ぶりでありました。

なお、12月9日にタウンプロモーション事業の活動拠点であるEZOHUB TOKYOにて開催します「大雲海と神秘の湖で、豊かな充実した人生をin EZOHUB TOKYO」と題したイベントに、澁谷市長にご登壇いただく予定であり、今後も交流を通じ、両市町が発展することを目指して参る所存であります。

次に、ポケモンマンホール蓋「ポケふた」設置についてありますが、株式会社ポケモンと北海道の包括連携協定による地域活性化の取組の一環として、同社が進めているポケモンマンホール蓋「ポ

ケふた」の令和7年度の設置自治体に本町が選ばれました。

このマンホール蓋は、各市町村のイメージに合わせてオリジナルデザインで作られるものであり、津別町の「ポケふた」も唯一無二のマンホール蓋となっております。

「ポケふた」は、10月15日に札幌市で開催された8市町合同によるお披露目会にて贈呈され、設置場所である木材工芸館キノス入口にて、10月31日、認定こども園こどもの杜のさくら組園児が出席の上、設置式を行いました。

今後は、キノスを訪れる方だけでなく、ポケモンファン等の新たな観光客を呼び込む、本町の新たな観光の目玉として発展していくことを期待しているところです。

次に、「モンベルフレンドエリアオホーツク」への加盟についてありますが、11月10日、小清水町において開催されたモンベルフレンドエリアオホーツク連絡協議会に出席し、来年度から本町と清里町が加盟することについて承認されました。

この取組については、アウトドア製品を製造販売する株式会社モンベルが、全国の自治体との連携により地域の自然や文化を活用し、アウトドア活動や観光の振興とともに同社の利用者に対し優待特典を供する事業を全国で展開しており、オホーツク管内におきまして

は、小清水町、北見市、網走市、美幌町、大空町の5市町とともに「モンベルフレンドエリアオホーツク」が組織され、自然豊かなオホーツク地域の魅力を発信しているところです。

今後は、「モンベルフレンドエリアオホーツク」の一員として、モンベル及び加盟6市町と連携を密にし、オホーツクエリアの広域的な観光発展に寄与して参ります。

次に、石川県穴水町長の来町についてであります。令和6年の能登半島地震の際に、山梨県南アルプス市と友好都市同士であるご縁から、被災地支援として穴水町に町職員4名を派遣しており、

11月27日、職員派遣のお礼のため吉村^{よしむらこうき}光輝穴水町長が来町されました。派遣職員4名も同席し、被災時の様子から、まだ復興途上である現状などについてのお話を伺い、感謝状や盾などの記念品の贈呈を受けたところです。

町の早期復興を願うとともに、今後とも南アルプス市をご縁とするつながりを大切にしていきたいと考えております。

なお、今議会におきまして、条例制定、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。